



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月14日

上場会社名 日清紡ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3105 URL <http://www.nisshinbo.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 村上 雅洋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 塚谷 修示 (TEL) (03) 5695-8833
 財経・情報室長
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	143,292	1.3	11,103	144.3	9,989	63.0	9,375	88.7
2019年12月期第1四半期	141,448	—	4,544	—	6,127	—	4,968	—

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 $\Delta 5,490$ 百万円(—%) 2019年12月期第1四半期 7,442百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	56.36	56.36
2019年12月期第1四半期	29.16	29.16

(注) 当社は2018年6月28日に開催された第175回定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されたことを受けて、2018年12月期より決算日を3月31日から12月31日に変更しました。これに伴い、2019年12月期第1四半期と2018年12月期第1四半期は連結対象期間が異なるため、2019年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	619,747	244,429	37.2
2019年12月期	617,527	252,535	38.6

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 230,587百万円 2019年12月期 238,104百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	540,000	6.0	14,000	116.0	18,000	53.8	13,000	78.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年12月期 1 Q	178,894,764株	2019年12月期	178,894,764株
2020年12月期 1 Q	12,547,999株	2019年12月期	12,545,648株
2020年12月期 1 Q	166,347,366株	2019年12月期 1 Q	170,382,251株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、その達成を約束するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、ブレーキ事業、精密機器事業および繊維事業等が減収となったものの、無線・通信事業の官公需が底堅く推移したことに加え、日本無線(株)三鷹製作所跡地(東京都)のマンション販売を開始した不動産事業が大幅な増収となったこと等により143,292百万円(前年同期比1,843百万円増、1.3%増)となりました。

営業利益は、無線・通信事業の増益に加え、不動産事業の売上増等により11,103百万円(前年同期比6,559百万円増、144.3%増)と大幅な増益となり、経常利益も、持分法による投資利益の減少や為替差損等の減益要因はありましたが、営業利益増により9,989百万円(前年同期比3,861百万円増、63.0%増)と増益になりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の増加に加え、投資有価証券売却益や固定資産売却益等の特別利益の増加により9,375百万円(前年同期比4,406百万円増、88.7%増)となりました。

なお、不動産事業のマンション販売が当期は第1四半期連結累計期間に集中しているため、当連結会計年度に占める第1四半期連結累計期間の売上、利益は相対的に高くなる見通しです。

主要な事業セグメントの業績は下記のとおりです。セグメント利益またはセグメント損失は営業利益または営業損失ベースの数値です。

(無線・通信事業)

ソリューション・特機事業は、航空・気象システムの大型案件が一巡したことにより減収となりましたが、防災・減災に資する官公需は底堅く推移しており、外注加工費等の費用減により増益となりました。

マリンシステム事業は、アフターマーケット需要が堅調に推移し商船換装向け機器の売上は増加したものの、中小型船向け機器の売上が減少したことなどにより減収・損失拡大となりました。

通信機器事業は、海外向けETC車載器の売上減少等があったものの、スマートフォン用光伝送装置や業務用無線の売上が堅調に推移したことにより売上横ばい・増益となりました。なお、2020年1月1日付で日本無線(株)の通信機器事業のうちGPS受信機やETC車載器等を扱うITS事業をJRCモビリティ(株)へ移管しています。※ITS(Intelligent Transport Systems:高度道路交通システム)

ICT・メカトロニクス事業(旧メカトロニクス・電源事業、2020年1月1日より名称変更。)は、情報通信機器が好調に推移したことに加え、2019年7月に連結子会社化したNJコンポーネント(株)の売上への寄与などにより増収となりましたが、費用増等により減益となりました。※ICT(Information and Communication Technology:情報通信技術)

その結果、無線・通信事業全体では、売上高51,316百万円(前年同期比3.6%減)、セグメント利益5,413百万円(前年同期比2.6%増)となりました。

(マイクロデバイス事業)

主力の電子デバイス事業は、中国向けスマートフォン用製品などの通信関連製品に加え、車載用製品や産機用製品の販売が減少したことにより減収・減益となりました。

マイクロ波事業は、米国向け衛星通信製品の販売が低迷したことや受託生産の終息により減収・減益となりました。

その結果、マイクロデバイス事業全体では、売上高14,558百万円(前年同期比5.2%減)、セグメント損失718百万円(前年同期比850百万円悪化)となりました。

(ブレーキ事業)

国内自動車販売は、消費税増税等の影響により前年比で減少しました。国内事業は、銅フリーの新製品立ち上がりによる受注増はあるものの、国内自動車販売縮小の影響を受け減収・減益となりました。

海外では、中国子会社は自動車販売縮小の影響を受け減収となりましたが、経費削減等により損失縮小となりました。米国、韓国およびタイ子会社は自動車販売縮小の影響等により減収・減益となりました。TMD社は中国や欧州市場の販売縮小の影響で減収となりましたが、事業再構築の進捗に加え、補修品の受注増や費用減により損失縮小となりました。

その結果、ブレーキ事業全体では、売上高30,999百万円（前年同期比8.4%減）、セグメント損失245百万円（前年同期比921百万円改善）となりました。

(精密機器事業)

自動車向け精密部品加工は、顧客の内製化に伴う受注減少や中国子会社における自動車販売縮小の影響により減収・減益となりました。

空調機器向け製品等を扱うプラスチック成形加工は、自動車・住宅設備関連顧客の販売不振に伴い南部化成(株)の受注が減少したことや、国内・中国・タイ・インド子会社における売上減により減収・減益となりました。

その結果、精密機器事業全体では、売上高13,827百万円（前年同期比14.8%減）、セグメント損失233百万円（前年同期比456百万円悪化）となりました。

(化学品事業)

断熱製品は原液および硬質ブロック製品の市況低迷や水処理担体の売上減により減収・減益となりました。機能化学品は粉状改質剤の売上増により増収・増益となりました。燃料電池用カーボンセパレータは売上は横ばいでしたが商品構成の変化により減益となりました。

その結果、化学品事業全体では、売上高2,031百万円（前年同期比3.2%減）、セグメント利益268百万円（前年同期比12.9%減）となりました。

(繊維事業)

国内は、衣料品需要の減退により超形態安定シャツ用生地の販売が落ち込んだことや、東京シャツ(株)が新型コロナウイルス感染症の影響で一部店舗を時間短縮営業としたこと等により減収・減益となりました。海外は、ブラジル・インドネシア・中国子会社の販売が不振となり減収・減益となりました。

その結果、繊維事業全体では、売上高9,616百万円（前年同期比27.0%減）、セグメント損失307百万円（前年同期比438百万円悪化）となりました。

(不動産事業)

前連結会計年度において大型商業施設用建物（愛知県）を販売したことにより賃貸事業は減収・減益となりましたが、日本無線(株)三鷹製作所跡地（東京都）のマンション販売を開始したことにより分譲事業は大幅な増収・増益となりました。

その結果、不動産事業全体では、売上高15,196百万円（前年同期比13,870百万円増）、セグメント利益8,697百万円（前年同期比878.7%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、一部の事業で新型コロナウイルス感染症の影響を受け始めているものの概ね予定通り推移しており、2020年12月期通期の連結業績予想につきましては、2020年2月13日公表の業績予想に変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症による当事業への影響が今後拡大する恐れがあります。今後の状況を踏まえ連結業績予想への影響が大きくなることが判明した場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,550	55,611
受取手形及び売掛金	111,601	126,431
電子記録債権	16,408	14,081
商品及び製品	41,811	45,296
仕掛品	56,830	44,131
原材料及び貯蔵品	23,205	23,166
その他	13,109	13,545
貸倒引当金	△588	△585
流動資産合計	299,929	321,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	59,120	58,518
機械装置及び運搬具(純額)	56,259	55,068
土地	35,158	34,848
その他(純額)	24,324	23,524
有形固定資産合計	174,863	171,961
無形固定資産		
のれん	5,101	4,595
その他	7,102	8,497
無形固定資産合計	12,203	13,092
投資その他の資産		
投資有価証券	104,214	86,689
その他	27,790	27,805
貸倒引当金	△1,473	△1,480
投資その他の資産合計	130,531	113,014
固定資産合計	317,597	298,069
資産合計	617,527	619,747

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,753	45,140
電子記録債務	19,635	17,962
短期借入金	46,548	61,981
未払法人税等	4,092	4,986
引当金	6,411	7,896
その他	112,581	75,238
流動負債合計	231,023	213,205
固定負債		
長期借入金	47,686	81,351
引当金	2,734	2,108
退職給付に係る負債	51,773	51,536
資産除去債務	839	822
その他	30,935	26,293
固定負債合計	133,968	162,113
負債合計	364,992	375,318
純資産の部		
株主資本		
資本金	27,639	27,639
資本剰余金	20,421	20,421
利益剰余金	165,548	172,429
自己株式	△15,947	△15,949
株主資本合計	197,662	204,540
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,570	28,797
繰延ヘッジ損益	△23	△0
為替換算調整勘定	3,810	△138
退職給付に係る調整累計額	△2,915	△2,611
その他の包括利益累計額合計	40,441	26,046
新株予約権	167	167
非支配株主持分	14,263	13,674
純資産合計	252,535	244,429
負債純資産合計	617,527	619,747

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	141,448	143,292
売上原価	113,659	108,636
売上総利益	27,788	34,655
販売費及び一般管理費	23,244	23,552
営業利益	4,544	11,103
営業外収益		
受取利息	114	69
受取配当金	74	74
持分法による投資利益	1,151	226
為替差益	249	-
雑収入	606	238
営業外収益合計	2,196	608
営業外費用		
支払利息	294	251
売上割引	122	138
為替差損	-	823
雑損失	195	507
営業外費用合計	612	1,722
経常利益	6,127	9,989
特別利益		
固定資産売却益	292	1,191
投資有価証券売却益	86	2,348
関係会社株式売却益	-	5
製品保証引当金戻入額	-	296
特別利益合計	378	3,842
特別損失		
固定資産売却損	48	6
固定資産廃棄損	34	24
減損損失	51	86
投資有価証券売却損	-	3
投資有価証券評価損	-	250
子会社事業構造改善費用	41	-
事業構造改善引当金繰入額	-	7
退職給付制度改定損	190	-
特別損失合計	366	378
税金等調整前四半期純利益	6,140	13,452
法人税、住民税及び事業税	1,625	4,322
法人税等調整額	△490	△176
法人税等合計	1,135	4,146
四半期純利益	5,005	9,306
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	36	△69
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,968	9,375

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	5,005	9,306
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,316	△10,779
繰延ヘッジ損益	23	23
為替換算調整勘定	770	△4,075
退職給付に係る調整額	233	293
持分法適用会社に対する持分相当額	92	△258
その他の包括利益合計	2,437	△14,797
四半期包括利益	7,442	△5,490
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,311	△5,019
非支配株主に係る四半期包括利益	130	△470

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当する事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当する事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注)	合計
	無線・通信	マイクロ デバイス	ブレーキ	精密機器	化学品	繊維	不動産	計		
売上高										
外部顧客への 売上高	53,222	15,358	33,843	16,237	2,097	13,177	1,326	135,263	6,184	141,448
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	28	201	2	34	46	0	371	686	679	1,365
計	53,251	15,560	33,845	16,272	2,144	13,177	1,698	135,950	6,863	142,814
セグメント利益 又は損失(△)	5,276	132	△1,167	222	308	130	888	5,793	66	5,859

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである食品、産業資材等の商社機能及び保険代理店業務等が含まれています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,793
「その他」の区分の利益	66
セグメント間取引消去	6
全社費用(注)	△1,321
四半期連結損益計算書の営業利益	4,544

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しないグループ管理費用及び減価償却費並びに基礎技術の研究開発費です。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注)	合計
	無線・通信	マイクロ デバイス	ブレーキ	精密機器	化学品	繊維	不動産	計		
売上高										
外部顧客への 売上高	51,316	14,558	30,999	13,827	2,031	9,616	15,196	137,544	5,747	143,292
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	14	228	4	295	49	—	357	949	917	1,867
計	51,330	14,787	31,003	14,122	2,081	9,616	15,553	138,494	6,665	145,159
セグメント利益 又は損失(△)	5,413	△718	△245	△233	268	△307	8,697	12,873	80	12,953

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである食品、産業資材等の商社機能等が含まれています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	12,873
「その他」の区分の利益	80
セグメント間取引消去	△99
全社費用(注)	△1,751
四半期連結損益計算書の営業利益	11,103

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しないグループ管理費用及び減価償却費並びに基礎技術の研究開発費です。